

主要産地における令和4年産水稻の生育状況等について 第4報 (令和4年6月17日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和4年6月17日)

道府県	区分	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
		育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		
北海道	(移植・生育)	<p>【生育状況 (6月1日現在)】</p> <p>(全道) 移植作業は平年並に終了した。(北海道農政部 6月7日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、移植作業も平年並に終了した。(空知総合振興局 6月7日付)</p> <p>(石狩) 生育・農作業は平年並。高温多湿により活潑は良好。(石狩振興局 6月7日付)</p> <p>(後志) 遅速は早1日。(後志総合振興局 6月7日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月7日付)</p> <p>(渡島) 生育は平年並に推移している。(渡島総合振興局 6月7日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並で推移。(檜山振興局 6月7日付)</p> <p>(上川) 生育は平年並に推移している。(上川総合振興局 6月7日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月7日付)</p> <p>(オホーツク) 移植作業は平年並に終了した。生育はやや遅んでいる。(オホーツク総合振興局 6月7日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・「なつぼし」及び「ゆめひりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。 (農林水産省 3月16日)</p> <p>(出典資料は以下同じ)</p>
青森	(生育)	<p>【6月10日現在の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つがるロマン」は草丈が29.8cmで平年より0.9cm短く、株当たりの茎数は6.8本で0.3本少なく、葉齢は6.0葉で0.1葉多かった。 ・「青天の霹靂」は草丈が33.3cmで0.7cm短く、株当たりの茎数は8.4本で1.1本多く、葉齢は5.5葉で0.1葉少なかった。 ・「まっしぐら」は草丈が35.4cmで0.2cm短く、株当たりの茎数は9.0本で1.2本多く、葉齢は5.7葉で平年並であった。 ・「はれわたり」は草丈が33.5cm、株当たりの茎数は9.1本、葉齢は5.8葉であった。 (青森県産業技術センター農林総合研究所 6月10日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、イネミズゾウムシの発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「つがるロマン」及び「ゆめひりか」の2品種で割合を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり、令和4年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
岩手	(生育)	<p>【6月15日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月上旬は気温・日照とも平年を下回ったことから、初期生育は平年に比べ全般に遅れている。 ・生育診断予察園における6月15日現在の生育 (県平均) は、草丈28.6cm (平年差-1.8cm)、茎数は198本/m² (平年比75%)、葉数は6.5葉で平年より0.2葉少ない。 (岩手県 6月16日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、イネミズゾウムシの発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「陸河のしずく」が、耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
宮城	(生育)	<p>【6月10日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> (栗原) 「ひとめぼれ」では草丈は平年並となっており、茎数及び葉数が平年と比較して少なく、葉色も淡い傾向が見られる。平年と比較すると生育は遅れている。(宮城県栗原農業改良普及センター 6月14日付) (仙台) 管内の主力品種である「ひとめぼれ」は、草丈が26.4cm (前年比91%、平年比92%)、茎数が181.4本/m² (前年比65%、平年比74%) となっている。葉色も34.1と (前年差▲8.4、平年差▲6.9) と淡く経過している。全体的に、6月上旬の低温及び日照不足の影響により生育が停滞している。特に、田植えを5月後半に行ったほ場ではその影響が大きく見られる。(宮城県仙台農業改良普及センター 6月13日付) (気仙沼・南三陸) 管内の生育調査における6月10日現在の生育は、草丈が概ね平年並からやや少なく、葉色はやや低くっており、低温の影響を受けたものと考えられる。(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月14日付) (大河原) 管内全般に平年よりも草丈は短く、茎数は少なく、生育量は小さい。周期的に低温と日照不足が繰り返されたことと、5月末以降の低温、日照不足により葉の展開と分けつが発生が緩慢だったことが影響していると考えられる。(宮城県大河原農業改良普及センター 6月14日付) (美里) 低温少照の影響で生育は停滞気味。(宮城県美里農業改良普及センター 6月13日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並も多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。</p>
秋田	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> (秋田) 「あきたこまち」の生育は草丈が25.7cm (平年比98%)、茎数が125本/m² (平年比72%)、葉数が6.5葉 (平年比±0.5葉) となっている。(6月10日調査)。(6月10日付) (由利) 6月10日の水稻定点調査結果 (3品種・移植8か所平均) によると、草丈は27.1cmで平年並み (平年比99%)、m²あたり茎数は182本で平年より少なく (平年比87%)、葉数は8.3葉 (平年±0.0葉)。(6月10日付) <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、イネミズゾウムシの発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
山形	(生育)	<p>【6月10日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> (北村山) <ul style="list-style-type: none"> ・6月上旬の低温と日照不足のため調査圃の生育は緩慢で、茎数は平年の半分。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月10日付) (鶴岡・田川) <ul style="list-style-type: none"> ・低温少照の影響で葉数展開が鈍く分けつは少ない。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月13日付) (南東置賜) 「雪若丸」 <ul style="list-style-type: none"> ・管内のほ場では、低温の影響で分けつが発生が進んでいない状況。多くのほ場で茎数不足となっている。(置賜農業技術普及課 6月14日付) (東村山) 「つや姫」「雪若丸」 <ul style="list-style-type: none"> ・6月上旬の低温の影響と、流水管理(水深5cm以上)が続いた圃場で、特に茎数不足が見られる。(村山農業技術普及課 6月13日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(生育)	<p>【6月7日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業総合センターの生育調査では、草丈は本部 (郡山市) が平年並からやや長く、会津地域研究所 (会津坂下町) と浜地域研究所 (相馬市) が短くなっている。茎数は、各地域ともやや少ないから少なくなっている。主稈葉数は、本部と浜地域研究所が平年より少なく、会津地域研究所が平年並となっている。 (福島県 6月10日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶさ」が増加していたが、飼料米への転換が増加していることから比率はやや低下している。</p>
茨城	(生育)	<p>【6月10日現在、水戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> (5月2日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」で平年より3日遅く、「ふくまるSL」で4日遅く、「コシヒカリ」で2日遅い。 (5月10日移植) ・「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は、平年より1日早かった。 (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月15日付) <p>【6月6日現在、龍ヶ崎市】</p> <ul style="list-style-type: none"> (4月27日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」で平年より1日遅く、「ふくまるSL」で平年より1日早い。 (5月6日移植) ・「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育は、平年より1日遅い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月8日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>向こう1か月、綿葉枯病の発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。</p>

<p>栃 木</p> <p>(生育)</p>	<p>【「コシヒカリ」「とちぎの星」(5月26日調査結果)】</p> <p>・草丈・莖数・葉令・葉色ともおおむね平年並。(栃木県農政課経営技術課 6月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>向こう1か月、綿葉枯病の発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。</p>
<p>千 葉</p> <p>(生育)</p>	<p>【6月15日現在】</p> <p>・6月は第2半旬から第3半旬にかけて気温は低く日照時間も少なく推移したが、「ふさおとめ」「ふさこがね」の幼穂形成期は平年並にむかえている。 ・4月20日植え「コシヒカリ」は6月23日頃から、「粒すけ」は6月22日頃からとなる見込み。 ・また、草丈はやや短く、葉色は平年並みに推移しており、「ふさおとめ」「ふさこがね」では莖数がやや少なくなっている。 ・ただし、県北地域の生育量は平年並のところが多く、県南地域に向かうほど平年よりやや少なくなっている。 (千葉県 6月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月18日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新品種「粒すけ」の本格栽培が開始</p>
<p>新 潟</p> <p>(生育)</p>	<p>【6月9日現在の県内全域の生育概況】</p> <p>・「コシヒカリ」では指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「並」、莖数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「淡い」生育状況だが、地域差、ほ場差が大きくなっている。 ・「新之助」では指標値に比べ、草丈は「やや短い」、莖数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」、葉色は「淡い」状況。 (新潟県 6月10日付)</p> <p>(岩 船) 【6月14日現在】5月中旬以降の遅植えほ場では生育がやや遅れている状況。早植えほ場の莖数は十分確保されている状況。ほ場により生育にばらつきがみられる。特に強風地域では生育に遅れが見られる。 (村上農業普及指導センター 6月14日付)</p> <p>【6月9日現在】 (新発田) 5月上旬田植えほ場の多くでは目標標数の7～8割の莖数を確保。(新発田普及指導センター 6月10日付) (三 条) 「コシヒカリ」の草丈は並、莖数は少、葉数はやや少ない、葉色は淡い。「こしいぶき」は平均では莖数は少なめだが、ほ場間差が大きい。(三条農業普及指導センター 6月9日付) (魚 沼) 「コシヒカリ」調査項目はいずれも指標値並みだが、田植え時期の違いによる生育差が見られる。5月20日頃までに移植したほ場では莖数が多く、生育が進んでいるほ場も見られる。一方、5月下旬以降に移植したほ場では、6月以降の低温等により分けつ発生が遅い。(魚沼農業普及指導センター 6月9日付) (南魚沼) 「コシヒカリ」草丈・並、莖数、やや少ない、葉数・並、葉色・並(地域差あり) (南魚沼農業普及指導センター 6月9日付) (十日町) 「コシヒカリ」生育調査ほ場の草丈は「やや短～短い」、莖数は「やや少ない～少ない」、葉数の進みは「並～遅い」、葉色は「やや淡い～淡い」。(十日町農業普及指導センターほか 6月10日付) (佐 渡) 「コシヒカリ」6月上旬の低温で生育が停滞し、ほ場間差が大きくなっている。連休田植えは莖数過剰傾向で、中干し過期を過ぎている。5月7日以降田植えは生育がやや遅れ傾向。(佐渡農業普及指導センター 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</p>
<p>富 山</p> <p>(生育)</p>	<p>【本田での生育状況(6月14日)】</p> <p>「コシヒカリ」：平年に比べ、草丈はやや短く、莖数はやや多く、葉色は並、葉齢は0.2葉遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや短く、莖数は多く、葉色は並となっている。</p> <p>「てんたくく」：平年に比べ、草丈は短く、莖数はやや多く、葉齢、葉色は並となっている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈は短く、莖数はやや多く、葉色は並となっている。 葉齢から予測すると、幼穂形成期は、6月25日頃と見込まれる。</p> <p>「てんこもり」：平年に比べ、草丈は短く、莖数はやや少なく、葉色は並、葉齢は0.4葉遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや短く、莖数、葉色は並となっている。</p> <p>「富富富」：近年に比べ、草丈はやや短く、莖数はやや少なく、葉色は並、葉齢は0.4葉遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈、莖数、葉色は並となっている。 (富山県 6月15日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」及び「てんたくく」の県のトップブランドに位置づけられている「富富富」が増加傾向にある。</p>
<p>石 川</p> <p>(生育)</p>	<p>【6月8日調査】【本田の生育】</p> <p>(草丈) 「コシヒカリ」平年比87～121% (県平均100%、加賀：99%、能登：101%)、と平年および前年並。 「ゆめみつばし」平年比83～117% (県平均95%、加賀：93%、能登：102%)と平年に比べてやや短く、前年に比べてやや長い。 「ひやくまん穀」近年比88～101% (県平均95%、加賀：96%、能登：94%)と近年に比べやや短く、前年並。</p> <p>(莖数) 「コシヒカリ」平年比56～106% (県平均103%、加賀：108%、能登96%)と平年並で前年に比べて多い。 「ゆめみつばし」平年比58～149% (県平均103%、加賀：103%、能登103%)と平年並で前年に比べて多い。 「ひやくまん穀」近年比96～121% (県平均107%、加賀：107%、能登107%)と、近年並で前年に比べてやや多い。 (石川県農林総合研究センター 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ゆめみつばし」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。</p>
<p>福 井</p> <p>(生育)</p>	<p>・連休移植や直播では、多くの圃場で有効莖数に達している。 (福井県 6月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ハナエ子セン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
<p>長 野</p> <p>(生育)</p>	<p>(須坂市八重森の農業試験場における水稲生育状況) ・移植後20日の生育は、全体的に草丈はやや短く、主稈葉数がやや遅れている。 ・移植時の草丈、葉数が例年よりやや遅れていたことが影響したと思われる。莖数は平年並みである。</p> <p>(原村試験場における水稲生育状況) ・移植後20日の生育は、いずれの品種も草丈は平年並みだが、主稈葉数、莖数は遅れている。 ・育苗期間から6月上旬まで低温傾向で推移したことから、移植時の平均葉数が例年より少なくなっている(いずれの品種も平均3.0葉)、その後の生育も緩慢に推移したと思われる。 (長野県農業試験場 6月15日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「藤さやか」の導入を推進している。</p>
<p>滋 賀</p>	<p>【農業技術振興センター 水稲作況調査(5月31日時点)】</p> <p>・草丈は「みずかがみ」は平年よりやや低く、「コシヒカリ」は平年並であった。 ・莖数は、「みずかがみ」は平年並、「コシヒカリ」は平年より多かった。 ・移植後の気温は平年より高く、日照時間も多かったこと から両品種とも主稈葉数の展開は平年より早かった。 (滋賀県農業技術振興センター 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並高い見込み。 降水量は平年並多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 近畿地方は6月22日頃から、かなりの高温 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。</p>

兵庫	<p>(6月1日現在)</p> <p>(県北) 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>(県南) 現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県 6月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 近畿地方は6月22日頃から、かなりの高温 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「ネズヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。
岡山	<p>・中北部地帯の田植時期、生育概況は概ね平年並である。</p> <p>(岡山県病害虫防除所 5月25日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 中国地方は6月22日頃から、かなりの高温 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「コシヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 中国地方は6月22日頃から、かなりの高温 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 四国地方は6月22日頃から、かなりの高温 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月、いもち病発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。
高知	<p>【早期稲(分けつ期)】 ・気温はやや低いものの、好天に恵まれ、生育は概ね順調に経過している。</p> <p>【普通期稲(育苗期～活着期)】 ・移植適期は平年並の5月下旬頃になる見込みであるが、降水量が少ないので、中山間地域の一部では遅れている場合も見られる。</p> <p>・育苗中には苗の軟弱徒長や一部ではかき病の発生が見られていたが、移植後の生育は概ね順調である。</p> <p>(高知県病害虫防除所5月報 6月7日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 四国地方は6月22日頃から、かなりの高温 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月、いもち病発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
福岡	<p>【5月17日現在】</p> <p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】 ・早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了。(最盛期は4月下旬) ・平年よりやや高い気温で経過しており、活着は順調。</p> <p>【普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】 ・現在、6月上中旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。 ・田植えは、「夢つくし」で6月上中旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に終わる見込み。「実りつくし」の田植えは6月中旬の見込み。</p> <p>(福岡県農林業総合試験場 5月17日付)</p> <p>(育苗・移植)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高く、降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 九州北部地方は6月22日頃から、かなりの高温 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新品種「実りつくし」の拡大を推奨している。
熊本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高く、降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 九州北部地方は6月22日頃から、かなりの高温 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。
宮崎	<p>【作物の生育状況(5月中旬)】</p> <p>(生育) 早期水稲は分けつ期(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高く、降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みさ358」への作付誘導が進められている。
鹿児島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月18日～7月17日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高く、降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 早期栽培は「コシヒカリ」普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和4年6月17日 15時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道農政部 6月7日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月7日)、
農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月7日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月7日)、
水稲作況調査報告(6月10日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月10日)
令和4年度 岩手県内の水稲の生育概況(6月15日現在 速報)(岩手県農業普及技術課 6月16日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月17日閲覧)、
仙台稲作情報2022(第2号)(宮城県仙台農業改良普及センター 6月13日)、
仙南稲作情報(第1号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月14日)、
令和4年度美里地区の稲作情報第3号(宮城県美里農業改良普及センター 6月13日)、
栗原の稲作通信令和4年度第2号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月14日)、
令和4年度産気仙沼・南三陸稲作情報第4号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月14日)、
稲作だより第6号(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月10日)、
令和4年度第1号 東南おきたま雪若丸だより(置賜農業技術普及課 6月14日)、
つや姫雪若丸通信第1号(村山農業技術普及課 6月13日)、
おいしい米づくり情報第7号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月13日)、
主要な農作物の生育情報令和4年度第3号(福島県農林水産部 6月10日)、
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所 6月15日)、
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所 6月8日)、
令和4(2022)年度水稲生育診断予測事業速報No.1(栃木県 6月9日)、
水稲の生育と当面の対策第3報(千葉県農林水産部 6月17日)、
水稲の生育と今後の管理対策(臨時第1号)(新潟県 6月10日)、
R4岩船米生育速報(6月14日現在)(村上農業普及指導センター 6月14日)、
令和4年度新発田地域水稲生育速報No.2(新発田農業普及指導センター 6月10日)、
FAX稲作情報No.4(三条農業普及指導センター 6月9日)、
コシヒカリ生育情報第2号(魚沼農業改良普及センター 6月9日付)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.2(6月9日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月9日)、
令和4年度稲作生育速報No.2(佐渡農業普及指導センター 6月9日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センターほか 6月10日)、
TACS情報第3号(富山県 6月15日)、
令和4年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月9日)、
稲作情報No.5(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月31日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(令和4年度)(長野県農業試験場 6月15日)、
水稲高標高試験圃の生育状況(令和4年度)(長野県農業試験場 6月15日)、
令和4年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月9日)、
令和4年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県 6月6日)、
令和4年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月25日)、
病害虫発生予察情報について(高知県病害虫防除所 6月7日)、
福岡県の主な農産物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月17日現在)、
令和4年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月24日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月16日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月16日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月16日気象庁)
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月16日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月16日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月16日広島地方気象
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月16日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月16日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月16日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月24日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月24日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月24日気象庁)
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月24日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月24日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日広島地方気象
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月24日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月24日鹿児島地方气象台)、

早期天候情報(6月16日気象庁)

令和4年度 病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月8日)、
令和4年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月16日)